

平成二十九年九月の作品（九月八日（金）（第五四回）

（文京シビックセンター5階D会議室）

底紅や三和土たたきにそろふ女下駄（一江）

灯を消して沢音しかと避暑の宿（清助）

露草や海辺の道にバスを待つ（隆治）

格子戸の向ふ流るる風の盆（奉男）

湯の街や虫の奏でるシンフォニー（正佳）

せがまれて添寝する夜や虫の声（孝昭）

明け方の露を秘めたる山に入る（前歩）

溝萩の咲いて家族の集まれり（貴美）

夏草にケルトの気満つタラの丘（正雄）

高台を風抜けてゆく蟬の声（平六）